

部活動などの表彰

令和3年度表彰

《バスケットボール部》

荒川区1年生大会 **優勝**

男子バスケットボール部、女子バスケットボール部

荒川区1年生大会 **優秀選手賞**

〇〇〇〇さん(2-2)、〇〇〇〇さん(2-1)、〇〇〇〇さん(2-4)

荒川区1年生大会 **第3位**

〇〇〇〇さん(2-4)、〇〇〇〇さん(2-2)

《美術分野での受賞》

東京都板橋区 佐藤太清記念 中学生絵画展 **入賞**

〇〇〇〇さん(3-3)



優勝おめでとう!

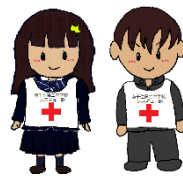


〇〇〇さんの入賞作品



学校だより
令和四年五月
第126号
荒川区立南千住第二中学校

「自習する力」を身に付けよう



ナンちゃん・ニーくん

校長 松田 公好

「もしお前が受験までに、今まで受けた定期テストをやり直して、ほとんど満点がとれるようになったら、希望の高校に合格できるはずだ」

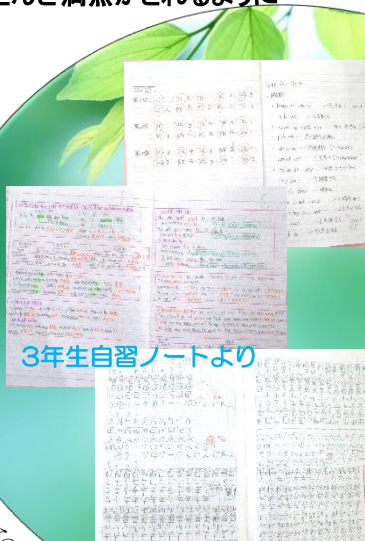
私が中学3年生になった時に恩師から言われた言葉です。生徒はよく「勉強しろと言われても、何をすれば良いかわからない」と言います。その時に思い出すのがこの恩師の言葉です。

今年度本校では重点目標の一つに『学習習慣の定着』を掲げ、特に家庭学習の習慣をつけさせたいと考えています。そして同時に重視しているのが『自習する力』です。そもそも『勉強する』とはどういうことでしょうか。「知らなかった」を「知っている」に、「解らなかった」を「解る」に変え、これに「知っている」「解る」を定着させるための反復練習といった作業を加えたものが『勉強』だと考えます。

中学校では定期考査をはじめ単元テストや小テストなど様々なテストが実施されます。これらのテストはそれまでに学習した内容を「知らなかった」「解らなかった」と「知っている」「解る」に分ける作業に他なりません。正解となった問題は「知っている」「解る」問題ですから勉強すべき対象から外することができます。大切なのは正解できなかった問題、つまり「知らなかった」「解らなかった」問題をどうするかです。だから結果に一喜一憂するだけで、テストをやりっぱなしにしていることはとてももったいないことなのです。正解できなかった問題をどれだけ正解できる問題に変えられるかが本当の勉強であり、学力向上のカギだと言えます。

もちろんテストの結果は一人ひとり違いますから、当然取り組むべき勉強内容も一人ひとり違うはず。だからこそ『自習する力』が重要なのです。教科で一斉に出される宿題や課題だけでは、各自の学力を十分に効率的に伸ばすことは困難です。今まで受けたテスト結果を分析して自分の弱点を見つけ、自分に必要な勉強内容を的確につかむ。そして自分に合った具体的な勉強方法を考えて実践できる。これが『自習する力』だと思います。今後ほとんどの生徒が直面する『受験』という大きな壁を乗り越えるための最も頼りになる力の一つになるはず。2、3年生はまず、今までのテストの分析から始めてみてはどうでしょう。そしてどうしたら正解できる問題に変えられるかを自分で考えてみましょう。よく考えてみて、行き詰まったら先生に相談してください。1年生は今からこのことを意識しておくといでしょう。

自習ノートや自習教室を積極的に活用して、まずは自習する力をつけていきましょう。



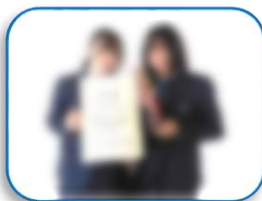
3年生自習ノートより

令和4年度表彰

《バレーボール部》

荒川区春季強化大会 **第2位**

女子バレーボール部女子

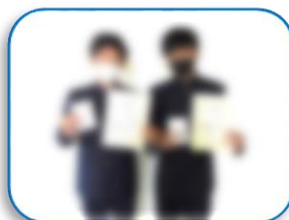


左:バレー部部长〇〇〇さん(3-4)、右:副部长〇〇〇さん(3-4)

《ソフトテニス部》

荒川区テニス春季大会男子個人戦 **優勝第3位**

〇〇〇〇さん(3-3)・〇〇〇〇さん(3-4)ペア



左:〇〇さん、右:〇〇さん

《陸上競技部》

第73回東京都中学校地域別陸上競技大会 東部 共通男子 砲丸投 **6位入賞**

〇〇〇〇さん(3-2) **都大会出場権獲得**

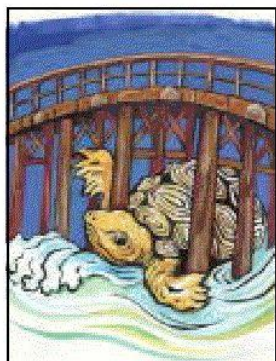


都大会出場が決まった〇〇さん

南千住マイスターのコーナー

千住大橋完成後も、川を行き来する舟が橋の近くで転覆したり、橋脚にぶつかるようなことがあったと、人々は、川の主の大亀が舟をひっくり返したのだなどと言っておそれていました。橋の上から川の流れを見た人の中には「潮が上げ下げするような時には、橋脚のあたりで大きな渦を巻いている。きっと大亀が川底で波をおこしているのだろう」と言う人もいたそうです。流れが複雑で固い岩盤のある千住大橋付近で語られた、千住大橋架橋と大亀のお話です。

昔から、川（荒川）には、ずっと大亀が住んでいました。ちやうど橋が造られた付近の川底がその大亀のすみかです。打ち込む橋杭が大亀の甲羅にぶつかってしまおうので、打ち込まないのだと言われていました。いくらか杭を打ち込むとしても橋杭は入っていかず、杭は川の流れに押し流されて倒れてしまっています。その為、付近で作業をしていた船は転覆し、乗っていた人夫は、その度川へ放り出されてしまいました。



すみだ川妖怪絵巻 NQ2 『千住大橋の大亀』

協力: NPO法人 千住すみだ川

第34回運動会

優勝：1年3組

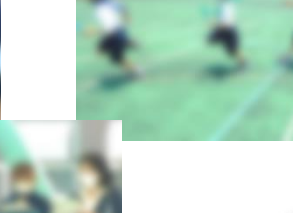
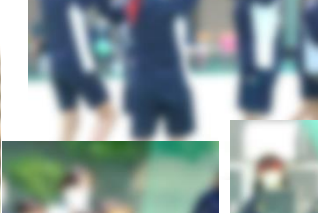
南千住第二中学校第34回運動会が感染症予防のため2、3年生は5月19日(木)に、1年生は5月30日(月)に開催日を分けて行われました。この日を目指して2・3年生は2週間、1年生は3週間以上にわたり競技練習や応援準備などに取り組んできました。クラスや選抜チームで作戦を立て、待ちに待った運動会の開催に皆の笑顔が溢れました。今年は“赤、青、黄、緑、オレンジ”の5色に分かれて応援を行い、**学年優勝を目指して各クラス生徒一丸となって熱い戦いを繰り広げました。**

今年から競技に「**モルック**」「**スウェーデンリレー**」の2種目も登場。モルックは、フィンランドの伝統的なスポーツです。スキットルという木製のピンを立てて、モルックという木の棒を下手投げして、倒したピンの本数を競います。1本だけ倒すとそのピンに書かれた数字が得点となるルールもあり、狙いを定めてもモルックは思いよらぬ方向に飛ぶという競技の面白さと体育科の**橋本先生、石川先生の実況中継**も加わり、大いに盛り上がりました。スウェーデンリレーは、走順によって、走る距離が50mから最長200mへと延びていく競技で、選抜選手がどの距離を走るかによって順位が変わることもあり、各クラス作戦を立てて競技に臨みました。全力で走りぬく選手の姿に全員が応援の拍手を送りました。

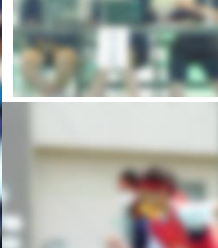
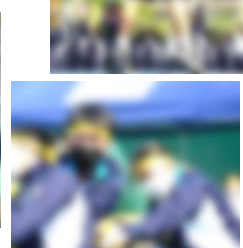
学年種目は感染予防を取り入れながらもチームで協力して楽しめるよう趣向を凝らしたもので、**3年生の6人7脚「INOKIでGO!」**は、はじめは呼吸が揃わず1歩進むにも時間を要していましたが、練習のたびにチームの絆が育まれ、運動会当日はどのチームも全速力で駆け抜けました。3年生にとっては全員で臨んだ最後の競技となり、終わって互いの健闘をたたえ合う姿は感動的でした。**2年生の「縄跳び南ジャニ∞」**では、大縄をクラス全員が間を空けず次々と跳び、時間内で跳んだ人数を競い合いました。励まし合い、タイミングを声かけあって、クラス一丸となって大縄跳びに挑みました。**1年生の「かごや姫」**は、かごやに扮した2人が竹を模した太い棒で客を運ぶ競技。かごやの2人はバランスを取りながら掛け声で息を合わせます。客役も揺れる棒から落ちないように必死です。中学校生活初めての運動会。30日は1年生だけの開催となりましたが、一生懸命に取り組む姿が晴れ渡った空の下で輝いていました。

全競技を終えて、両日も閉会式で結果発表が行われました。**学年対抗は、3年生1組、2年生2組、1年生3組がそれぞれ優勝**をおさめました。

運動会に際しては、保護者、地域の皆さまのご理解・協力ありがとうございました。

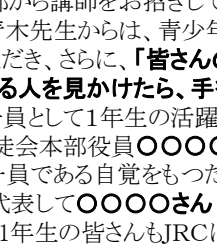
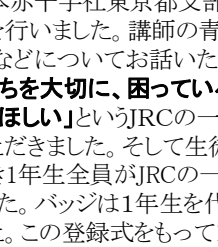
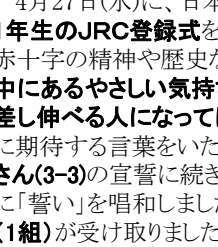
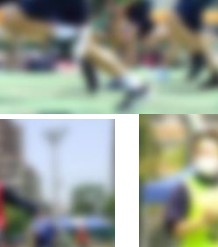
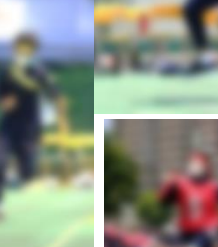
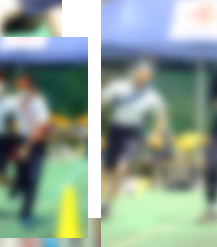
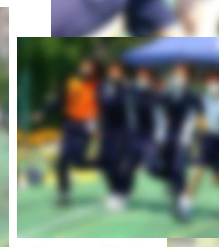
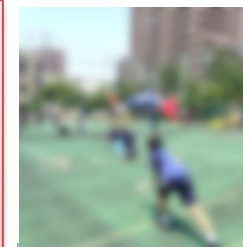


- 5月30日プログラム
開会式
- 1 ラジオ体操
 - 2 全員リレー
 - 3 サイレント綱引き
 - 4 モルック
 - 5 スウェーデンリレー
 - 6 1年学年種目(かごや姫)
 - 7 学級対抗リレー
 - 8 整理体操
- 閉会式



優勝：2年生2組、3年生1組

- 5月19日プログラム
開会式
- 1 ラジオ体操
 - 2 サイレント綱引き(3年、2年)
 - 3 3年全員リレー
 - 4 2年学年種目(縄跳び南ジャニ∞)
 - 5 モルック(3年・2年)
 - 6 スウェーデンリレー(3年・2年)
 - 7 2年全員リレー
 - 8 3年学年種目(6人7脚、INOKIでGO!)
 - 9 学級対抗リレー(3年・2年選抜)
 - 10 整理体操
- 閉会式



JRC 登録式

4月27日(水)に、日本赤十字社東京都支部から講師をお招きして、**1年生のJRC登録式**を行いました。講師の青木先生からは、青少年赤十字の精神や歴史などについてお話いただき、さらに、「**皆さんの中にあるやさしい気持ちを大切に、困っている人を見かけたら、手を差し伸べる人になってほしい**」というJRCの一員として1年生の活躍に期待する言葉をいただきました。そして生徒会本部役員〇〇〇〇さん(3-3)の宣誓に続き1年生全員がJRCの一員である自覚をもつために「誓い」を唱和しました。バッジは1年生を代表して〇〇〇〇さん(1組)が受け取りました。この登録式をもって1年生の皆さんもJRCに加盟したことになります。「**気づき、考え、実行する**」を目標に、**困った人がいたら助けられる人を目指しましょう。**

